

保護犬寝床作り奉仕

ゆうゆうの里「おっぼの会」に
利用者

伊東市八幡野の介護付き有料老人ホーム伊豆高原ゆうゆうの里で、利用者が保護動物の寝床を作るボランティアをしている。80、90代を中心とした10人ほどが週3回、古新聞を細長く裂いて市内の団体に贈る。犬好きの

利用者も多く、仲間との談笑と手作業を楽しみに元気に励んでいる

る。
ゆうゆうの里では以前から、利用者有志が奉仕作業に取り組んできた。生活サービス課の浮ヶ谷美穂主任は「利用者さんから『やることないや』と言われることないや」と言われ、古新聞をたたんだり、箱を作ってもらったりしてきた」と話す。

寝床用の新聞作り



保護犬の寝床にするため新聞を細かく裂く施設利用者＝伊東市八幡野の伊豆高原ゆうゆうの里(提供写真)

は、池で動物保護シエルターの活動をしている「おっぼの会」に贈ろうと3月から始めた。利用者が新聞をちぎりながら談笑すると、犬の話題が出ることもある。「うちも犬を飼っていたの」「日本犬で散歩したら引っぱられた」と昔話に花が咲く。

浮ヶ谷さんは「楽しくやってもらっている。社会貢献につながり張り合いも出ると思う」と述べた。